

2 2030年度までに公共施設照明を 100%LED化に

2050 年の「ゼロカーボンシティの実現」に向けて

磐田市は、令和3年度にゼロカーボンシティの表明をし、2050 年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにすることを目指しています。

現在、家庭用 LED 買替キャンペーンを実施していますが、公共施設においても、2030 年度までに照明の完全 LED 化に向けて取り組みます。

なお、LED への変更は、工事や修繕、リースで行いますが、リースについては、9 月議会に補正予算案を提出します。

1 対象施設（令和8年度以降）

LED 化改修施設：266 施設

① 発注工事 ：43 施設

※国の財源措置がある施設 《学校、スポーツ施設等》

② 修繕工事 ：86 施設

※照明の少ない施設 《駐輪場、ポンプ場、トイレ等》

③ リース事業：152 施設（うち 15 施設は①と重複）

※照明の多い施設 《交流センター、園等》

《参考》

磐田市公共施設 ：817 施設（うち LED 化対象外施設 389 施設）

LED 化対象施設：428 施設（うち LED 化済施設 156 施設）

令和7年度改修予定施設：6 施設

2 現状

市有施設の LED 化率：36.4%（令和7年3月末時点）

3 期待される効果

電気料金削減額 ：最大 7,565 万円／年

CO2 排出量削減額：最大 1,058t-CO2／年

4 補正予算概要(リース事業分)

リース費総額：7億 5,000 万円（10 年リース）

※リース事業は、組織横断的に一括リースにより行います